

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第 1289 号	氏名	深江 貴芸
論文審査担当者		主査教授	吉浦 孝一郎
		副査教授	江石 清行
		副査教授	大園 恵幸
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、生理学的機能から推測した候補遺伝子を解析することにより冠動脈疾患感受性遺伝子を同定しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 冠動脈造影検査により、75%以上の器質的狭窄を有する 143 名の冠動脈疾患患者と造影検査で異常のない 164 名を解析対象として、患者対照試験を行っている。生理学的機能から合理的に推測される候補遺伝子について遺伝子型を決定しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、liver X receptor alpha (<i>NR1H3</i>) 遺伝子と liver X receptor beta (<i>NR1H2</i>) 遺伝子が冠動脈疾患発症の感受性を規定していることを明らかにし、またそれらの二遺伝子は互いに独立な感受性遺伝子であることを多項ロジスティック回帰分析により明らかにしている。本研究により、今後の冠動脈疾患研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は循環器疾患研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			